

「万葉集膝栗毛」使用説明書



制作者：荒川 昭

〔開発言語〕使用OS・開発言語 WINDOWS 上の Visual Basic (VER 6.0) WINDOWS 10まで作動確認済み

〔開発目的・指針〕

万葉集をあらゆる角度から楽しみたいという個人的願望から作ったデータベースソフトであり、総数約4500首という歌の中から、時に応じ、必要に応じて、即座に、その歌を検索し、提示したいという欲求を叶えてくれるソフトをめざしました。タブレットパソコンに仕込めば、万葉集全巻を、旅のお供として気軽に持ち運び、「万葉の旅」を満喫できる。そのような使われ方をしていただけましたら、幸いこのうえありません。

〔内容構成・何が出来るか〕

① 全巻・全歌、テキストの確認

全ての歌について、歌番号による本文、題詞、左注・・・など、テキスト確認が出来ます。また、本文については、「万葉仮名原文（西本願寺本万葉集）」、漢字仮名交じり訓読文・ひらがなよみ・私訳現代語（何れも底本は武田祐吉氏「万葉集全講」）というように、切り替えて確認できます。

(第1巻) 1

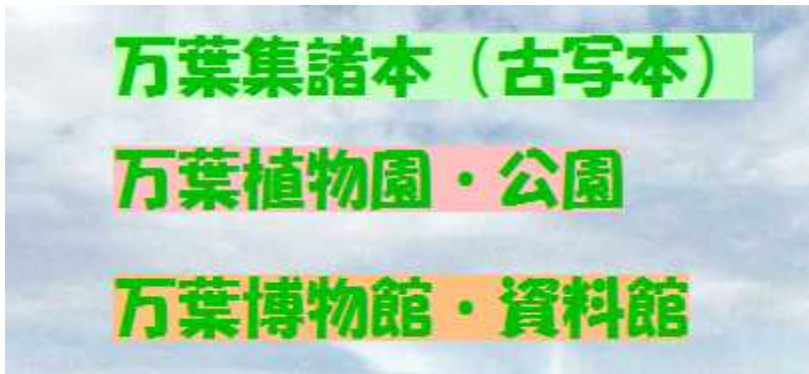
雄略天皇

《題詞》泊瀬朝倉宮御宇天皇代〔大泊瀬稚武天皇〕 天皇御製歌

訓読・左注

② 万葉集関係の施設など紹介

万葉集関係の博物館や植物園は、全国各所にあります。これらの所在地を調べたり、現地写真を見たりすることができます。



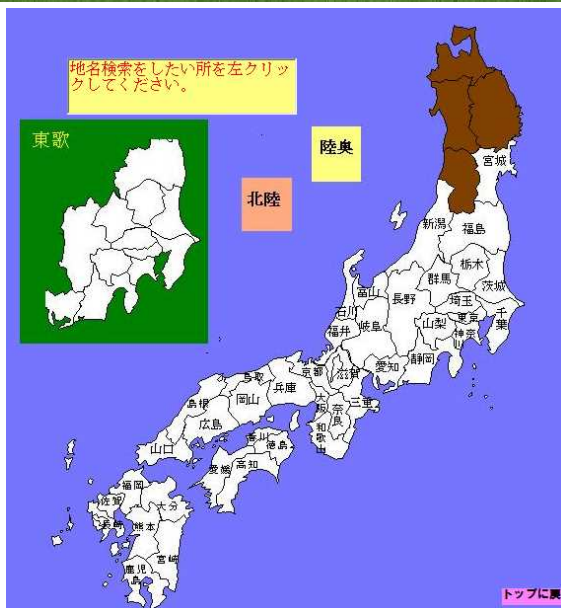
※ 現地取材が基本方針ですが、「植物園・公園」についてはまだ一部を訪ねただけです。これからも内容を追補してゆくつもりです。

③ 万葉集で取り上げられた動植物検索・コトバ検索



※「人名検索」は作者名の羅列表記となっています。同一人物の別名表記などは未整理状態です。

「コトバ検索」には単語および文節判断機能はありません。入力文字を、文字として一括検索します。

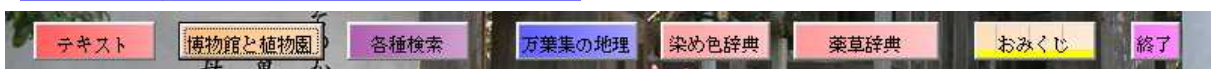


④ 地理検索

※ 各都道府県の枠内をクリックすると歌枕的に万葉歌に詠まれた地名が表示されますので、目指す地名をクリックしてください。その地名を含む歌の歌No.が表示されます。更に、何れかの歌No.を選択してクリックすると、歌の全体が表示されます。

万葉歌とともに旅が出来るので、制作者としては重宝しています。

⑤ その他



その他、「染め色辞典」「薬草辞典」「おみくじ」などのメニューがあります。上記メニ

ューのうち、「薬草辞典」については、かつて神奈川県足柄上郡二宮局区内井之口（現：足柄上郡中井町）にあった植木薬草園刊（大正13年初版）の「国益実用 野生薬採取鑑」（植木萬作 著）を全ページ紹介しました。近年薬草関係の書籍はカラー写真入りで綺麗なものが出版されていますが、本格的な本草学の書籍は別として、手軽で実用的な薬草書籍としては貴重な物ではないかと思い、取り入れました。当時行われた商取引の様子なども分かり、貴重な資料です。

「染め色事典」は万葉時代の染め色を追体験し、イメージしてもらうものとして載せました。群馬県高崎市にある「高崎染料植物園」などに取材しましたが、著作権の関係で、最終的にはカットせざるを得なくなるかもしれません。

〔起動方法〕

- ① トレイにCDを挿入し、CDにアクセスしてください。
- ② CDファイルの中の「MANYOU」というフォルダを開き、これをそっくりCドライブにコピーしてください。
- ③ コピーした後は全てCドライブの操作となりますので、CDドライブからは、ディスクを抜いてもらって 結構です。
- ④ Cドライブのフォルダから先ほどコピーした「MANYOU」を選び、そのなかにある「万葉集. EXE」をダブルクリックすると、次のような、メニュー画面が開きます。枠下に表示されたメニューバーの何れかをクリックし、それぞれの場面へ進んで下さい。

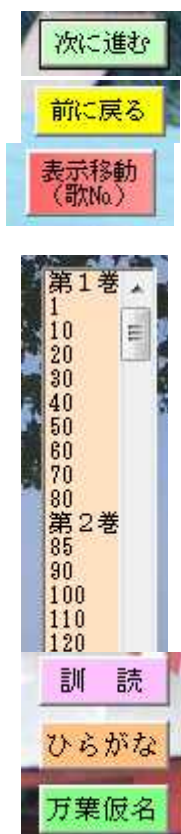


テキスト画面について

① テキスト画面の構成



① サイドメニューの機能



・・・歌 (番号) を 1 首ずつ先に進めます。

・・・歌 (番号) を 1 首ずつ後ろに戻します。

・・・次のような数字バーが出ます。目的の歌番号が分かっている場合、数字バーの該当箇所をクリックしてください。歌の表示がジャンプします。但し数字の刻みは 10 ずつになっていますので、一桁部分については「次に進む」「前に戻る」ボタンで微調整してください。例えば、歌番号 91 にジャンプしたければ、一旦 90 を表示した後、次に進むボタンで 1 つ進むという使い方をしてください。

今日の一首
 ・・・どの歌という目的はなく、ただ徒然に歌との出会いを楽しみたい方は、このボタンを活用して下さい。4500 首の歌から乱数で、PC が歌を選び、表示してくれます。

原文 (万葉仮名)、訓読、ひらがな (読み方) というように、表示を変え、万葉時代のコトバを楽しむことができます。

私訳現代語

・「万葉集全講」(武田祐吉・明治書院)の現代語訳そのままを基本としながら、言い回しを更に現代風にあらため、また、思い切った意識を試みたりしました。結果的には制作者の勝手訳になっています。今後とも校閲がつづきます。テキストファイルなので、修正、削除などは自在です。

印刷

・表示中の歌を、訓読・ひらがな・万葉仮名の三体でテキスト印刷します。用紙はA4です。1首で1枚使用しますので、短歌などはかなり、紙の無駄遣いになります。

各種検索画面にも印刷メニューがありますが、そちらは画面をそのままにコピー印刷します。



最初、背景画面との関係で表記文字の色を変えて、各自、一番読みやすいものにしてもらおうという意図でしたが、黒1色で十分ということが分かりました。完成版では削除する予定です。

② 外字について

万葉集には、現在ではなかなか見られない漢字、使われない漢字、字体が出てきます。これらはすべて外字を作成して使用しています。外字ファイルはCDの中の¥G A I Z I というフォルダに収納しています。このフォルダを開き、その中の「cpeu258」というアプリケーションを開き、インストールして下さい。

なお、皆さんそれぞれのPCの外字環境を上書きすることになりますので、既に独自の外字を作成して運用中の方は、外字番号の重複にご注意ください。

博物館と植物園画面について

この機能は未完成です。

① 万葉博物館の紹介

全て現地訪問をしています。

② 万葉植物園の紹介

自分の足で現地を訪ね、目で確かめるというのが基本方針ですが、全国40箇所余りの万葉植物園のうち、まだ訪問できていない植物園が10箇所ほどあります。現地訪問が出来ていない植物園は、パンフレットやインターネット情報に頼っています。また、万葉植物園は維持管理が難しく、実際に訪ねてみると廃園状態と言うところもあり、その意味で、情報としては未完成項目です。健康状態と費用だけが問題ですが、今後とも現地訪問を心がけて行くつもりです。

③ 万葉集諸本の紹介

手持ちの書籍や知識を整理したのですが、写真・図版に著作権などの問題があるかもしれません。問題が生ずる可能性があれば、配布の際は削除します。

万葉動植物検索画面について

この項目の写真は基本的には自分で撮影したものを使用しています。ただ麝香鹿など一部についてはインターネット上のフリー写真を利用しています。

ことば検索について

「ひらがな」「漢字」入力により、万葉歌のなかの使用例を探すという用語検索ができます。ただ、自立語と付属語の区別や意味や音節の判断は出来ません。入力した文字のひとつながりとして検索しますので、実用段階では更に、その後の整理・判別作業が必要となります。

その他

あくまで、「万葉集入門基礎資料」の提供を目指したものです。不便なところや物足りないところは各自で補っていただくということになります。その意味で、万葉集の「楽しみ」は、利用者それぞれで発見していただくというのが究極のコンセプト。万葉集入門のきっかけ作りになれば、制作者の労は報われたこととなります。

※ このソフトに関しての不具合・質問がありましたら次のところにご連絡ください。

〒 252-0336 神奈川県相模原市南区当麻 1 1 0 7 - 5

荒川 昭

電話：042(733)7129

電子メール宛先

arayo23@jcom.home.ne.jp